

ロス対策士の皆さん

今回は書店で店長をされている高瀬雅也さんを紹介します。

ロス対策士コミュニティのお知らせ

フェイスブックに「ロス対策士コミュニティ」を設けました。フェイスブックのアカウントをお持ちの方は、是非ご参加ください。

<https://www.facebook.com/groups/919653045344673>

特定非営利活動法人全国万引犯罪防止機構

LP教育制度作成委員会

小林武史さんは、現在、棚卸サービスを提供するエイジスの郡山サテライト・マネジャーをしています。昨年、水戸から山形そして郡山に単身赴任で異動しました。自宅は水戸にあります。

エイジスには2004年嘱託社員として入社し、2008年には正社員登用となりました。「入社したきっかけは友人に紹介されたからです。仕事は大変きつかったのですが、仲間と楽しく働いていました。」と小林さんは言います。

現在の業務は、その地域の既存顧客を担当しているものの、基本的に新規の営業活動はしておらず、大型店のオペレーションが中心です。郡山 StO（サテライト・オフィスの略：地区営業所）には主に夜間に大型店の棚卸に携わる40名内外の従業員がおり、他に昼のクルー（コンビニエンスストア）が4～5クルーくらいが稼働しています。

小林さんが最も心掛けていることは部下の育成であり、そのポイントは成功体験を積み重ねることだそうです。現在は大型店担当をしている部下を独り立ちさせようと指導しています。そのために優秀なSV（スーパーバイザー：棚卸チームの現場責任者）である彼をクルーから外してマネジメントに専念させるようにしています。

小林さんは言います。「部下に指示をだすのではなく、計画の立案、実行、修正、総括までを自らの責任で行うように指導支援をします。するとやる気もでて生き生きと仕事に取り組むようになります。そして部下の成功は自分の成功でもあると思っています。」

小林さん自身は家族とは離れています。二週間に一度は、水戸にもどり、奥さんと三人の子供への家族サービスに忙しくしています。昨年1月に犬猫の保護活動をしている方から猫を譲り受け飼いだしました。動機は子供たちのけんかを止めさせるためでしたが。あまり効果はないそうです。

課題として取り組もうとしているのは、ある顧客の棚卸についてです。正直あまり店舗のコンディション、特にバックルーム管理ができていないので、棚卸カウント作業が大変なので、棚卸クルーもあまり行きたがらないくらいです。当然ロスが多いのも想像に難くありま

せん。

小林さんは、それをどうにか改善できないかと考えています。「目的はお客様の商品管理やロスの防止に貢献するためです。私たちにとって正確な棚卸を行うのは当たり前の話です。更に商品在庫管理の改善に向けた助言ができないだろうか、お客様にとっての困りごとを解消したいのです。」と小林さんは話してくれました。

小林さんの今の目標は、自分のキャリアではオペレーションラインが長いので、その延長線上であるDMgr (ディストリクト・マネジャー) になることです。手本となる上司や先輩に学びその目標をできるだけ早く達成させたいそうです。

ディックス・スポーツ、23%の利益減少を窃盗のせいとして従業員 250 人を解雇

2023 年 8 月 24 日

ディックス・スポーツは、純利益が 23%減の 2 億 4400 万ドル、営業利益が 32%減の約 3 億 1200 万ドルとなったことを受け、従業員の解雇を含む新たな「事業最適化計画」を発表した。同社は、こうした減少は過剰在庫と盗難に対する「断固たる行動」によるものだと述べた。

同社は、取引高の 2.8% 増加と継続的な市場シェアの拡大により、第 2 四半期の既存店売上高は 1.8% 増加した。

CEO のローレン・ホバートは、「堅調な取引の伸びと市場シェアの継続的な拡大により、第 2 四半期の好調な販売実績に満足している」と述べ、そして「当四半期の 7 月の売上は大幅に加速し、2023 年もプラスの売上高を達成することに引き続き自信を持っている。当社はさらに 2 桁の EBT マージンを記録したが、主に金利上昇の影響により、第 2 四半期の収益性は予想を下回った。また、在庫の減少は、多くの小売企業に影響を与えるますます深刻な問題である。2023 年の EPS 見通しは据え置いたものの、当社の事業において長期的な成長機会に対する自信はかつてないほど高まっている。」と続けた。

同社のプレスリリースによると、この事業最適化計画は「最も重要な戦略を支援するために人材、組織設計、支出をより適切に調整すると同時に、全体的なコスト構造も合理化する」としている。さらに、DICK'S は 8 月 21 日に主にカスタマーサポートセンターの一部のポジションを削減したと述べた。このため、同社は第 3 四半期に約 2,000 万ドルの退職金が発生すると予想している。関連コストの削減は、今後 12 か月間で戦略的な人材への投資によって大幅に相殺されると予想される。ブルームバーグは匿名の情報筋を引用し、人員削減は企業従業員 250 人に影響を与えると報じた。

同社は現時点で具体的な追加措置を約束していないとしているが、現時点では事業最適化は 2023 会計年度中に完了すると予想しており、その結果、2,500 万ドルから 5,000 万ドルの追加の一時費用が発生する可能性がある。

DICK'S が決算発表やプレスリリースでロスに言及したのは、この 20 年近くで初めてだと

いう。そして、ロスの拡大が確実に進んでおり、ディックスはアウトドア分野での同社の減速などの他の要因が影響し、利益の減少を窃盗のせいだと主張している。

[https://losspreventionmedia.com/dicks-sporting-goods-lays-off-250-employees-after-blaming-23-drop-in-profits-on-theft/?utm_source=ActiveCampaign&utm_medium=email&utm_content=Dick+s+Lays+O
ff+250+Employees+After+Blaming+23++Drop+in+Profits+on+Theft+%7C+PLUS+the
+Latest+LP+Industry+Updates&utm_campaign=LPM+Daily+230824](https://losspreventionmedia.com/dicks-sporting-goods-lays-off-250-employees-after-blaming-23-drop-in-profits-on-theft/?utm_source=ActiveCampaign&utm_medium=email&utm_content=Dick+s+Lays+Off+250+Employees+After+Blaming+23++Drop+in+Profits+on+Theft+%7C+PLUS+the+Latest+LP+Industry+Updates&utm_campaign=LPM+Daily+230824)